

信州オープンダースクールの（仮称）について

（長野県教育委員会資料から抜粋）

- 様々な事情で学校に登校していない児童生徒の学びの場や居場所となる**新たな選択肢を創りたい**
- 中学校形式卒業生や中学校未就学者の**学び直しを支えたい**
- 日本の中学校にあたる教育を十分に受けていない外国籍又は外国由来の方の**学びのニーズに応えたい**

令和6年4月、学びの多様化学校と夜間中学の併設など、
よりインクルーシブでフレキシブルな新たな学びの場としての
「信州オープンダースクール」の設置について検討を開始

【こんな願いがある】

○不登校児童生徒や保護者

- ・ みんなと同じように成績もつけてほしい。
- ・ 自分に合った学び方を選べるようにしてほしい。
- ・ 学びの場の選択肢を広げてほしい。
- ・ 自分が勉強したい時間に勉強させてほしい。
- ・ 通学距離や卒業後の進路など、負担や心配に十分配慮された安心して通える学校がほしい。

【こんな願いがある】

○学齢経過や外国由来の方

- ・ 日本語や知識等を学び、多くの人と出会いたい。
- ・ これから先、後悔ないように学び直したい。
- ・ 夜間勤務なので、空き教室があるならば昼間の時間に通いたい。
- ・ 中学校卒業資格がほしい。
- ・ 仕事やこれからの生活のために学びたい。

様々な背景を持った多様な人々が

- ・それぞれのペースや時間で学びたいことを学べる場
- ・自分らしさを大切にしながら学ぶことができる場
- ・共に学ぶことでより充実した学びが期待できる場

が求められている

いつでも自分のペースで学べる

～学びの多様化学校と夜間中学の併設による昼間部・夜間部の開設～

【学びの多様化学校】

- ・授業時数の低減(770時間程度まで)
- ・複数教科を統合した特色ある教科の新設(合科)や組み換え
- ・習熟度別に、個別の学習スピードやそれぞれの状況に寄り添った支援



【夜間中学】

- ・通常の中学と同じ9教科の学習(700時間程度)
- ・充実した日本語指導
- ・個々の状況により修業年限はさまざま
- ・中学卒業資格が得られる

- ・不登校の子どもたちが夜間部に登校し、共に学び合う
- ・夜間中学に通う方が昼間部に登校し、共に学び合う

多様な方が集い、共に学び、
共に成長できる場となり得る

軽井沢町としての方針

長野県主催の「信州オーブンドアスクール創造会議」が、今年度4回実施され、全ての会議に参加。

軽井沢町の抱える教育課題（不登校児童への支援、中学校未就学者への支援、外国籍の方のニーズ等）の解決に向けて「学びを保障する新たな場を創っていくことが重要」との認識を深めた。

町として、課題解決に向け、現在県内にはない、新たな学びの場の設置に向けた取り組みを、事業名を「軽井沢オーブンドアスクール」として推進していく。

軽井沢町教育推進アドバイザーについて

令和6年10月1日から、元高校教員でもあり長野県高等学校の校長をはじめとする役職を歴任され、最終的に長野県教育委員会教育長で退任されました、内堀繁利氏を、「軽井沢町教育推進アドバイザー」として任命させていただきました。

今後、町が進めていく「学びの多様化学校設置検討」・「夜間中学設置検討」及び、「併設の検討」について、国及び県等との協議がスムーズに運ぶようご尽力いただきます。

今後の取組みについて

- 「軽井沢オーブンドアスクール設置準備委員会」（以下、委員会）
を立上げ、設置に向け始動していく。
- 委員は、学識経験者・支援者・長野県教育委員会・学校関係者等、様々な立場で活躍されている方、10名から15名程度とし、オブザーバーとして国の関係者等にも参加していただくことを想定している。
なお、令和6年度中に1回目の開催を予定している。

スケジュールについて

- 新校開設 令和9年度の開設を目指し進めていく
- 委員会
（開催予定） 令和6年度1回、令和7年度4回を予定
令和8年度、9年度、開設以降も必要に応じ、随時開催していく
- （検討内容） 学校形態、教員・スタッフ体制、教育課程、設置場所、関連工事等
- 県との協議 随時実施
- 国への申請 令和8年度早々に提出できるよう準備